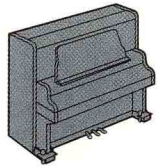
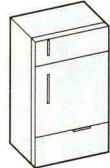


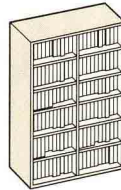
■家具のプロポーションと重量の一例



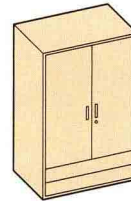
アップライトピアノ
200~250Kg



冷蔵庫
(幅70cm×高さ170cm)
80~100Kg

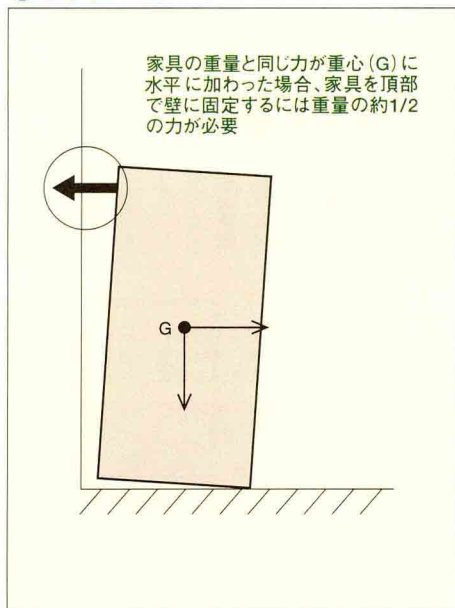


本棚
(幅90cm×高さ180cm)
150~200Kg



洋ダンス
(幅90cm×高さ180cm)
100~150Kg

③転倒させないメカニズム



「家具転倒防止等の手引き」より

こうした建物本体の揺れ方、家具それぞれの揺れ方、あるいは家具を置いた床材の種類などによって、家具はさまざまな動き方をするわけです(図②)。

具体的には、洋ダンスや冷蔵庫のような背の高い家具や家電製品には、前後に揺れながら歩いて移動してしまうロッキング移動と呼ばれる動きもみられます。また、食器棚や整理ダンスのように積み重ねてある家具の上の部分や、テレビ台に載ったテレビなどがジャンプをしたり落下するケース、あるいはロッキングを起さずに床面を滑って移動をするケースなど、置かれた条件によってその動きは多様です。

家具は形や置かれた条件で多様な動き方をする

地震で大きく揺れても、家具が動かないようにするには、大きな力が必要です。

たとえば、家具の上部で支える図③のようなケースでは、家具の全重量の1/2以上の力が必要となります。

いずれにしても、地震の揺れによる家具の転倒や移動を防ぐためには、できるだけ建物本体に、家具をより安全に固定しておく必要があります。

家具を転倒させないためには固定が必要

②地震による家具の動き方のパターン

<p>一体的な家具などの場合</p>	<p>転倒</p> <p>家具・冷蔵庫・ピアノなどが転倒</p>	<p>ロッキング移動</p> <p>家具などが歩き移動して、通路などをふさぐ</p>	<p>揺れ</p> <p>揺れによって、床や壁にぶつかり、収納物の被害がある(床仕上げ材によっては転倒)</p>
<p>積み重ね家具などの場合</p>	<p>ジャンプ</p> <p>家具やテレビなどが飛びたって落下</p>	<p>落下</p> <p>積み重ね家具、ダンスの上の飾り棚などが落下</p>	

関西設計者会議緊急公開シンポジウム「インテリアの耐震安全性」より作成